

ドイツ北部、ハンブルク
北の港町に灯る、小さな希望

ユビのともび

ノイエンガンメ強制収容所とブレンファーザー・ダムの子どもたち

—— もう、ただ可哀想なだけの
子どもたちじゃない。

撮影・監督：東 志津
(「花の夢-ある中国残留婦人-」「美しいひと」)
語り：吉岡 秀隆
音楽：阿部 海太郎
音響デザイン：井上 久美子
題字：大竹 亜希子
日本語字幕：吉川 美奈子
監修：石田 勇治 (東京大学大学院教授)
2022 年 / 日本 / 108 分 / カラー / ステレオ
日本語・ドイツ語・英語
製作・配給：S.A プロダクション
<https://azumashizu.com/>

アウシュヴィッツ強制収容所から送られてきた 20 名のユダヤ人の子どもたちと、
時代を超えて、彼らの悲劇と向き合い続ける人々の姿を静かに描く長編ドキュメンタリー

過酷な運命に翻弄された、
20 人の子どもたち。

“私たちを忘れないで—”



INTRODUCTION

ドイツ第二の都市、ハンブルク。世界有数の港湾都市として知られるこの町の郊外に、かつてノイエンガンメ強制収容所がありました。第二次世界大戦勃発の前年(1938 年)、ナチ・ドイツによって設置された強制収容所のひとつで、ナチスの迫害を受けたユダヤ人や捕虜、政治犯など、1945 年の終戦までの間におよそ 10 万人もの人々が収容されました。1944 年 11 月 28 日。ここに、アウシュヴィッツ強制収容所から 20 人の子どもたちが送られてきます。収容所で親を失い孤児となった子や、家族と引き離されて連れてこられた 5 歳から 12 歳の 10 人の男の子と、10 人の女の子。フランス、イタリア、オランダ、ポーランド、スロヴァキアと生まれた国は様々でしたが、皆、ユダヤ人の子どもたちでした。彼らは“結核の人体実験”のために集められた子どもたちだったのです。



—— 大切なのは 考え続けること、そして、忘れないこと

過酷な実験で衰弱した子どもたちは、ドイツの敗戦が迫る 1945 年 4 月 20 日の夜、ナチ親衛隊によって殺害されます。「人体実験」という非人道的な行為の“証拠”を残しておくわけにはいかなかったのです。廃墟となった小学校、“ブレンフーザー・ダム”の暗い地下室で、誰にも知られずこの世から姿を消された 20 人の子どもたち。彼らの存在は、戦後、長い間、世間に知られることはありませんでした。時代が変わり、この惨劇に光が当てられるようになったのは、1970 年代の末頃から。ある一人のドイツ人ジャーナリストが

発表した、子どもたちについてのルポルタージュがきっかけでした。現在、ノイエンガンメ強制収容所とブレンフーザー・ダムは記念館へと姿を変え、多くの見学者や研究者を受け入れています。耐え難い運命の犠牲となった 20 人の子どもたちと、彼らの死を忘れまいと行動するドイツ、ヨーロッパの人々。死者と生者との出会いから生まれたのは、未来を照らす小さな希望でした。世界がどんなに変わっても、人間が決して手放してはいけな大切なこととは何か—問い続ける人々の姿を、ハンブルクの美しい風景とともに描く長編ドキュメンタリーです。



北のともいび

語り：吉岡 秀隆
音楽：阿部 海太郎
音響デザイン：井上 久美子
題字：大竹 亜希子
日本語字幕：吉川 美奈子
監修：石田 勇治（東京大学大学院教授）
撮影・監督：東 志津
（『花の夢 ある中国残留婦人 - 『美しいひと』
2022 年／日本／108 分／カラー／ステレオ
日本語・ドイツ語・英語
製作・配給：S.A プロダクション
<https://azumashizu.com/>

7.30 (土) よりロードショー
連日 10:00 ~ (8/7.10.14.17 は休映)

※東志津監督作品同時開催決定 『美しいひと』(8/7.10) 『花の夢 ある中国残留婦人』(8/14.17)
※1300 円均一 (小中シニア 1000 円) ※「北のともいび」チケット提示により 1000 円でご覧になれます

自主上映しませんか? お問い合わせ◆S.A プロダクション TEL.070-8373-7456 E-mail: sapro@azumashizu.com <https://azumashizu.com>

特別鑑賞券 1300 円発売中!
(当日一般 1800 円の処)
WEB 割 1500 円 (期間中も有効)
※詳細は劇場までお問い合わせください

新宿駅東南口階段下
甲州街道沿ドコモショップ左入ル

新宿 K's cinema

TEL.03-3352-2471
www.ks-cinema.com

各入替
全席指定席

